

交流広がる、インターネット!!

区内にある札幌新川高等学校の美術部では、「さっぽろ雪まつりプロジェクト」に取り組んでいます。この取り組みは、道外に住む子どもたちとインターネットで意

<http://www.phoenix-c.or.jp/~bali/snow2003/>



インターネットで雪まつりに参加

見を交換しながら雪像のアイデアを練り上げ、実際の会場でも一緒に制作するというものです。

この取り組みが始まったのは五年前。「美術部では、以前から雪まつり会場での雪像作りをしていました。そのことを道外の学校の先生方に話したところ、『ぜひ一緒にやりたい』ということになりました」と、同校教諭で美術部顧問の吉岡隆よしかたかしさんは、そのきっかけを教えてくださいました。

わざわざ来札するのに雪像作りの作業に参加するだけで、子どもたちは満足できるだろうか。より楽しんでもらうため、実際の雪像のデザインに子どもたちのアイデアを生かすことができる方法はないだろうか。こう考えた吉岡さんが思い付いたのは、インターネットの電子メールやテレビ会議を利用すること。これにより、遠く離れている場所からでも雪像のデザインなどの事前準備から一緒に取り組むことができます。参加する子どもたちはもちろん、美術部員も満足度が高まるようです。



▲「毎年、デザイン決定には苦心します。でも、それが楽しくて」と吉岡さん



▲インターネットを利用した意見交換。道外の小学生と美術部員との友情も深まります

プロジェクトは、二月に開催される雪まつりに向けて、前年の夏に参加希望を呼び掛けることから始まります。今回は福井県内の三つの小学校から参加の希望があり、今月下旬の雪像作りに向けた準備を進めているそうです。「道外の子どもたちは、雪像のことが全く分からないので、アイデアの中には雪の重さに耐えられないようなデザインがたくさん出てくるんです。でも、そういったものもできるだけ取り入れてあげたくって」と、吉岡さんは笑いながら話してくれました。また、制作作業の間中は会場に来ることができない子どもたちのために、作業行程を写真に収め、ホームページで紹介することも考えているそうです。

「雪も見たことがない道外の子どもたちが、雪像作りに参加できるのも、インターネットのおかげですね」と、吉岡さん。距離という障壁を乗り越えることができるインターネットには、さまざまな可能性が秘められているようです。

～区内のホームページあれこれ～

◆北区ホームページ「みてきて北区」
区役所庁舎の案内をはじめ、区の歴史やまちづくりの取り組み、区内の行事のお知らせなどを掲載しています。今後は動画も取り入れ、より一層ホットな話題を提供していく予定です。



<http://www.city.sapporo.jp/kitaku/>

◆さっぽろ北24条商店街「24ロード」
<http://www.24road.gr.jp/>
売り出し情報や通信販売コーナーがあります。

◆あまトピア麻生
<http://www.asabu.net/>
麻生地区の地域情報が満載です。

◆新川みどり町内会
<http://d-style.gaiax.com/home/midori/>
町内行事の写真販売コーナーもあります。